

令和7年5月吉日

第3期 梶原町

子ども・子育て

支援事業計画



令和7年3月

高知県 梶原町

地域のみなさまへ

第3期梶原町子ども・子育て計画（概要版）について

この度、「第2期梶原町子ども・子育て支援事業計画（令和2年度から令和6年度）」が満了となり、「第3期梶原町子ども・子育て支援事業計画（令和7年度から令和11年度）」を作成しました。

本計画書は、子ども・子育て支援法に基づき、本町の子どもを取り巻く現状や、計画の進捗状況を確認・検証し、子どもの育ちと保護者の子育てを社会全体で支援するための計画書です。

子どもたちの笑顔を支えていくため、地域のみなさまにもぜひ子育て支援に関わっていただければと思います。

今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願いします。

梶原町教育委員会事務局

（担当：学校教育係）

計画策定の趣旨

梶原町(以下、本町という。)では、これまで平成 22 年3月に「梶原町次世代育成支援行動計画」、令和2年3月には「第2期梶原町子ども・子育て支援事業計画」(以下、第2期計画という。)を策定し、地域全体での子ども・子育て支援を推進してきました。このたび、第2期計画が計画期間満了となることに伴い、近年の社会潮流や本町の子どもを取り巻く現状、計画の進捗状況を確認・検証し、子どもの育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境の整備をより一層促進することを目的に、「第3期梶原町子ども・子育て支援事業計画」(以下、本計画という。)を策定しています。子どもたちの健やかな成長は、地域の未来そのものです。地域の未来を担う子どもたちが健やかに暮らす地域の実現や、だれもが結婚や出産・子育てに関する希望がかなう社会の実現に向けた地域づくり・環境整備に引き続き取り組みます。

計画の法的根拠

本計画は、子ども・子育て支援法第 61 条第1項に基づく、市町村行動計画として位置づけます。国より示された「子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援事業計画の基本指針」に基づき、本町が取り組むべき対策と達成しようとする目標や実施時期を明らかにし、財政状況を勘案しながら集中的、計画的に取組を推進します。

本計画の策定にあたっては、上位計画である「梶原町総合振興計画」や関連する分野別計画との整合・連携を図るとともに、こども大綱や子どもの貧困対策等も勘案し、「第2期計画」の考えや取組を踏襲した、子ども・子育て支援を総合的に推進していく計画と位置づけます。

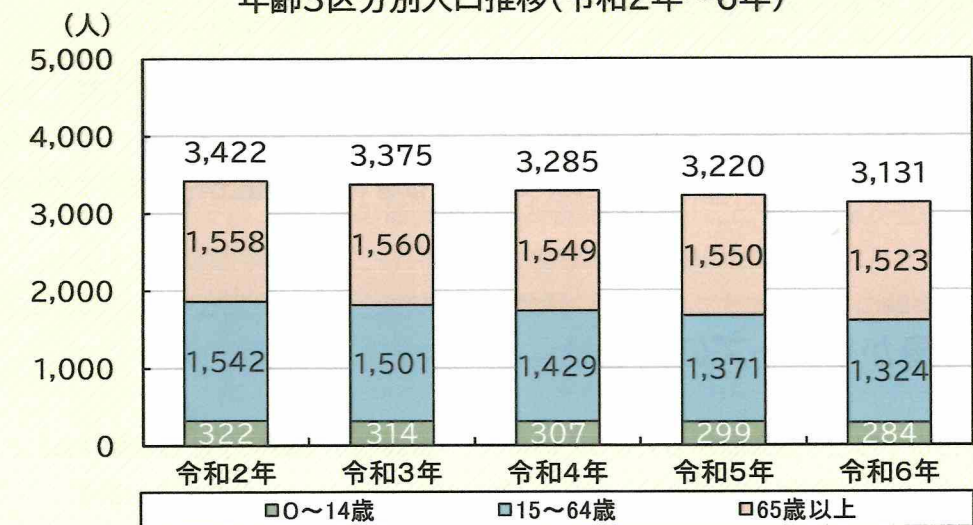
計画の期間

本計画の期間は、令和7年度から令和 11 年度までの5か年とします。

令和 6 年度	令和7年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和11年度
2期計画					
検証	第3期 計画期間				

統計による町の現状

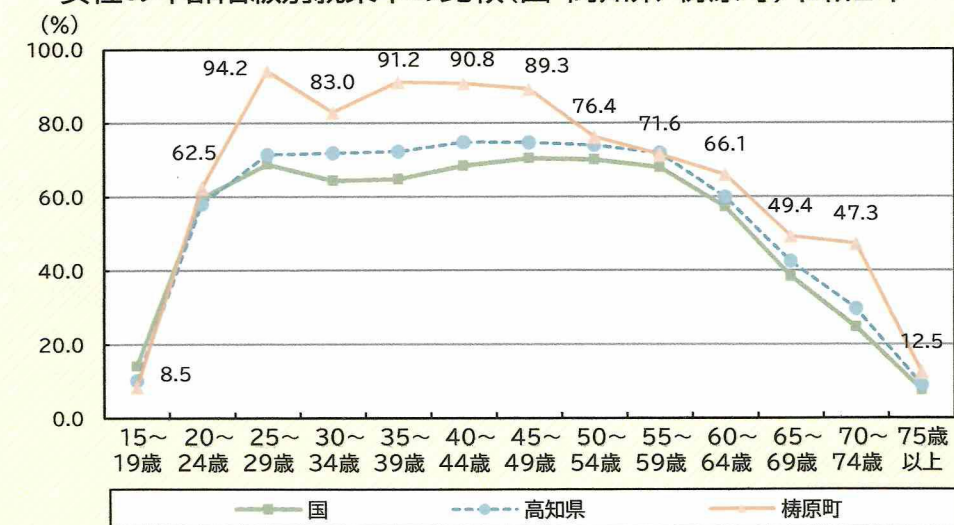
年齢3区分別人口推移(令和2年～6年)



資料:住民基本台帳(各年3月末)

総人口の推移をみると、緩やかな減少傾向にあり、令和6年では令和2年から 291 人減の 3,131 人となっています。年齢3区分別人口では、全ての年齢区分で減少傾向にあります。

女性の年齢階級別就業率の比較(国-高知県-梶原町)令和2年



資料:国勢調査

女性の年齢階級別就業率について令和2年時点における国との比較では、15～19 歳を除いて本町が上回っており、高知県との比較においても 15～19 歳及び 55～59 歳を除いて本町が上回っています。

本町の子育てにおける現状・課題

1 子育て家庭の環境変化

女性の就業率の上昇や共働き世帯が多くなっており、子育てをめぐる環境や子育て家庭のニーズは多様化しています。支援を必要とする子育て世帯を見逃すことの無いよう、保護者に寄り添った子育て施策を展開するため、交流できる場や機会の創出等を検討する必要があります。

2 一時預かりニーズの高まり

共働き世帯やひとり親家庭が多くなっている中で、保護者が気軽に子どもを預けることのできるサービスの提供体制の確保に今後も地域で取り組んでいく必要があります。

3 父親の育児参加

女性の就業率や共働き家庭が増加している中で、育児は母親のみが行うものではなく、父親も積極的に育児参加をする必要があります。父親の育児参加に関する情報発信や勉強会等について検討する必要があります。

4 地域における子育て支援

子育て世帯のうち、祖父母等の親族が同居または近居している家庭では、親族が子育ての身近な相談先となっており、不安や負担が軽減されています。親族が同居、近居していない子育て世帯を孤立させないため、地域全体でネットワークを構築することが求められています。

5 子育てのしやすさ

子育てしやすいまちだと感じている保護者が多い中で、さらに子育てしやすいまちとなるためには、子どもの居場所づくりや保護者同士の交流のきっかけづくりが重要となっています。

計画の基本理念

本町では、まちの最上位計画となる総合計画の中で、まちが目標とする人間像として、「1 正しいもの、美しいものをきちんと見極める事ができる」「2 勇気を持って行動ができ、人の痛みがわかる優しさを持っている」「3 進取の気性に富み、未知の世界に臆することなく挑戦する」という3つ要素を兼ね備えた人を「橿原人(ゆすはらびと)」と定義し、行政や関連期間・団体が連携しながら、次代を担う橿原人の育成に取り組んできました。

今回の第3期計画では、子どもの最善の利益が保証される「こどもまんなか社会」の実現をめざし、教育・保育事業や地域子ども・子育て支援事業等の提供に取り組むとともに、元々の生まれた地域や世代が異なっても、町民同士が対話・連携することで子育ての輪を地域全体で広げ、持続的な子育て環境の充実を図るものとします。

子どもたちの笑顔をみんなで支え

子育ての輪が広がるまち ゆすはら



めざす子どもの姿

第1・2期計画では、保護者はもちろんのこと「橿原こども園」・「橿原学園」等の教育・保育施設やその他の関係機関が同じ目的を共有し、質の高い教育・保育を提供できる体制づくりを進めるため、めざす子どもの姿として、「よく遊び、たのしく学ぶ このまちと、人が大好き、元気なゆすっ子」を掲げて、子ども・子育てに関する取組を推進してきました。

本計画は、そういった第1・2期計画の願いを継承し、引き続き、「よく遊び、たのしく学ぶ このまちと、人が大好き、元気なゆすっ子」を本町がめざす子どもの姿としてここに掲げます。

よく遊び、たのしく学ぶ

このまちと、人が大好き、元気なゆすっ子

施策の展開

基本目標1 子どもたちの健やかな成長を支えます

(1) 幼児期における教育・保育の充実

(一時預かりの実施/
地域子育て支援拠点事業 等)

(2) 母親、子どもの健康と安心の確保

(1歳6か月児・3歳児健診/新生児訪問 等)

(3) 食育の推進

(いきいき農園との交流事業/
親子給食学習 等)

(4) 児童の教育環境の充実

(森のようちえん事業/異世代交流事業 等)

(5) 次世代の親の育成

(ペアレント体験事業 等)



基本目標2 子育て家庭の多様なニーズに対応します

(1) 子育て支援のネットワークづくり

(利用者支援事業 等)

(2) 経済的な支援の推進

(保育料、給食費の無料化/
小学1年生体操服助成 等)

(3) 児童虐待防止対策の充実

(要保護児童対策地域協議会の充実 等)

(4) 子どもの貧困対策の充実

(スクールソーシャルワーカー(SSW) 等)

(5) ひとり親家庭等の自立支援の推進

(ひとり親家庭への相談対応の推進 等)

(6) 障がい児施策の充実

(障がい児教育の充実 等)

(7) 不登校等、生きづらさを抱える子どもへの支援への支援

(スクールソーシャルワーカー(SSW)および
カウンセラー活用事業 等)

(8) 移住者に対する子育て支援の推進

(0歳児における一時預かり事業の検討 等)

基本目標3 「ゆすっ子」を地域みんなで守り、育てます

(1) 地域と協働した子育て支援の取組

(子育て支援のネットワーク化/
放課後子ども教室 等)

(2) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進

(交通安全の啓発 等)

(3) 子どもを犯罪等から守るための活動の推進

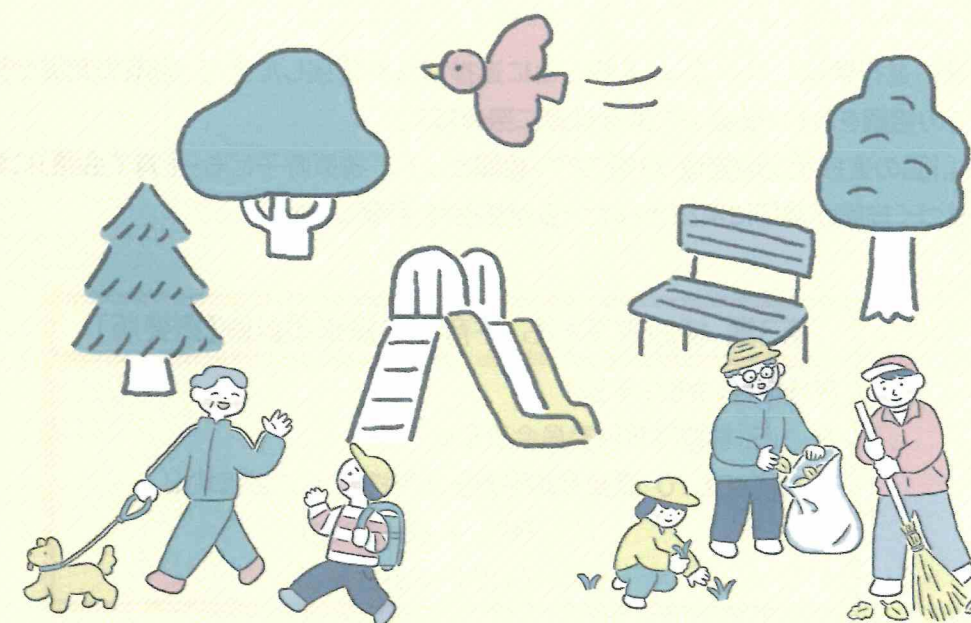
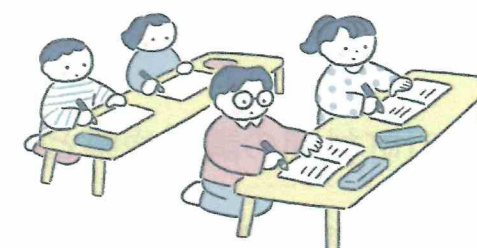
(パトロール活動の推進/情報モラルの
教育 等)

(4) 安心して外出できる環境の整備

(道路の安全確保/防犯対策の啓発 等)

(5) ワーク・ライフ・バランスの実現

(男女共同参画社会の推進/父親の育児参
加を推進するための情報発信 等)



推進体制

1 計画の推進に向けて

計画を推進するためには、行政のみならず、住民や企業、認定こども園、学校等、地域の関係団体との連携・協力が不可欠となっています。

子育て支援の関係者や子育て中の家庭だけでなく、住民をはじめ地域全体が子育て支援の担い手として積極的に関わることができるように、計画について広報等により周知・啓発を行うとともに、認定こども園等をはじめ、子どもに関わる機関や企業、NPO等、各種団体に対しても理解と協力を求める働きかけを行います。

2 市町村間の調整や県との連携

子ども・子育てに関する制度の円滑な運営を図るためには、子どもや保護者のニーズに応じて、認定こども園等の施設、地域子ども・子育て支援事業等が円滑に供給される必要があります。その中で、保育の広域利用、障がい児への対応等、町の区域を越えた広域的な供給体制や基盤整備が必要な場合については、国や県、近隣市町村と連携・調整を図り、今後もすべての子育て家庭が安心して暮らせるよう努めていきます。

3 計画の評価・確認等

本計画の進行管理については、年度ごとに進捗状況を把握した上で、施策の充実や見直しについての協議を行い、計画の円滑な推進に努めます。

また、計画の進捗状況の管理・評価を行う組織として、「梶原町子ども・子育て会議」に報告し、計画に基づく施策が適切に実施されているかを点検・評価します。

第3期 梶原町子ども・子育て支援事業計画【概要版】

発行年月：令和7年3月

発 行：梶原町教育委員会事務局

〒785-0610 高知県高岡郡梶原町梶原 1212 番地 2

TEL:0889-65-1350

FAX:0889-40-2055



図書館イベントのお知らせ



人と人を繋ぐ、世界のボードゲームで遊ぼう



令和7年6月22日(日)

時間 10:00～16:00

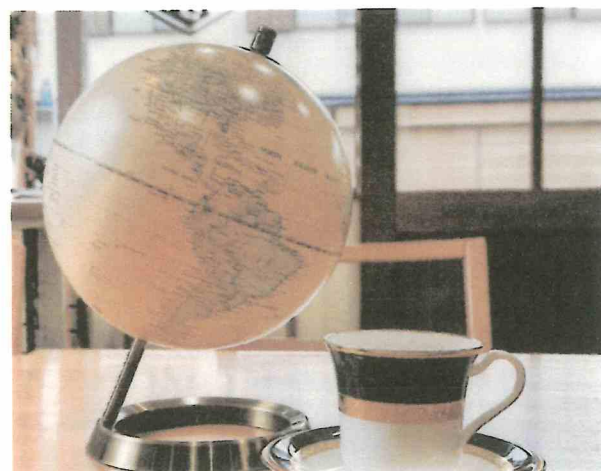
世界中でその価値が見直されているアナログゲーム。愛媛県城川町でボードゲームカフェを運営する小泉英一郎さんを迎え、子どもも大人も一緒に楽しめる、魅力的なゲームを多数紹介していただきます。初めての方でも安心、プロのレクチャーですぐに参加できます。

大人気コーヒー談義。飲み比べて世界を感じる

令和7年6月26日(木)

時間 9:30～10:30

町内でコーヒーショップを営む山口健児さんにお話を伺う大人気企画第3弾。様々な味わいを持つ世界のコーヒー。その味わいの違いはどのように生まれるのでしょうか？地球は23.4度傾いた状態で自転しながら公転しているという所から話を始めてみましょう。



電波で繋がる楽しさ！アマチュア無線を体験しよう

雨天中止(小雨であれば開催します)



NHK朝の連続テレビ小説「あんぱん」
放送応援特別局[8J5ANPAN]提供

令和7年6月29日(日)

時間 13:00～16:00

世界中の人と交信できる楽しさを持ち、電波や機器に関する技術を学べるアマチュア無線。非常時の通信手段としても有効で、国境を越えた交流ができる国際的な趣味です。今回は小中高校生を対象に、無資格でもアマチュア無線を体験できるチャンス。この機会をお見逃しなく！



第1号

榑高だより

高知県立榑原高等学校

〒785-0610

高知県高岡郡榑原町

榑原1262

TEL (0889)65-0181

FAX (0889)65-0172

令和7年5月10日発行

《新年度にあたり》

教務部より

教務主任 高橋正英

すがすがしい天候に恵まれ、令和7年度がスタートして1か月が立ちました。新入生の皆さんも少しずつ榑原高校に慣れてきたころではないでしょうか。

高校時代の3年間は皆さんにとってかけがえのない貴重な時間です。この3年間でしか紡ぐことのできない友情や出会いがあると思います。一日一日を大切に過ごし、将来の目標に向かって努力をしてほしいと思います。

また、皆さんにはこの榑原高校でしか学ぶことのできない行事や連携事業などでの学びを自分の力に変えてほしいと願っています。榑原高校での学びは、教科・科目での学びだけでなく、皆さんの個性を発揮し、自ら考え、判断し、行動できる場面がたくさんあります。自ら活動した学びは、自己のスキルアップだけでなく、将来にわたっての学びへと結びつくでしょう。

新年度が始まり、新たな気持ちで学校生活を始めたこの時に、一年間の「やること」を決め何事にも前向きに取り組む、充実した学校生活を過ごしてください。

一学期行事予定

5月	10日(土)	PTA総会
	12日(月)	10日振替休日
	20日(火)	第1回キャリア教育講演会
	23日(金)	県体壮行式
	24日(土)	県体
6月	3日(火)	24日振替休日
	26日(月)	1学期中間考査発表
	27日(火)	1学期中間考査発表
	3日(火)	1学期中間考査発表
7月	3日(木)	1学期期末考査
	17日(木)	球技大会
	18日(金)	終業式



進路指導部より

進路指導主事 水田知沙

新年度がスタートしました。1年生も、榑原高校での新しい生活に少しずつ慣れ、授業や部活動にも前向きに取り組んでいるでしょう。在校生も進級し、それぞれのステップアップ、進路実現を目指した1年をスタートさせていると感じます。高校生活が充実したものになるよう、まずは日々の規則正しい生活習慣、学習習慣をしっかりと身に付けてください。そして、日々の授業や部活動、学校行事などの学校生活にも積

井上 稔

高知県立榑原高等学校校長



このたびの人事異動により四月から校長として赴任いたしました。榑原高校や生徒の皆さん、保護者や地域の願い、今まで取り組んできた営みなどを学びつつ、生徒一人ひとりの成長と榑原高校のさらなる発展のために教職員一同尽力してまいります。どうかよろしく願い申し上げます。

さて、過日四月七日に令和七年度入学式を挙行いたしました。当日は、榑原町長 吉田尚人様、津野町教育長 久寿久美子様、榑原町教育長 矢野雅也様、魅力ある榑原高校を創る会会長 久保栄八様、本校同窓会長 西村信明様、本校同窓会前会長 熊田光男様、本校PTA副会長 金尾有加様、榑原町教育委員会一貫教育支援センター所長 原由香様ならびに保護者の皆様のご臨席を賜りました。改めて感謝申し上げます。

入学式では、新入生二十七名の呼名が行われました。その呼名を聞きながら、心からの歓迎の気持ちとともに、新入生がこの学び舎でどのような高校生活を送り、どのような経験をし、さらにどのようなスキルを身に付けていくのか、思いを巡らせていました。新入生自身も、高校生としての第一歩を踏み出すにあたり、期待とともに一抹の不安も抱きつつ、今後の決意を新たにしていたことでしょう。

ぜひ、高校での生活で、日々の授業はもちろんのこと、学校行事や生徒会活動、部

令和6年度まで3年間の主な合格先

種別	就職・進学先等				
	国公立	私立	短大	専修学校等	就職
大学 短大	鳥取大学 周南公立大学 高知大学(4) 高知県立大学(2) 高知工科大学(2)	文教大学 亜細亜大学 桜美林大学 国際基督教大学 東京工芸大学 日本大学 東京農業大学 日本福祉大学 びわこ成蹊スポーツ大学 京都産業大学 京都文教大学(2) 佛教大学(2) 追手門学院大学(2) 大阪学院大学(2) 大阪経済大学 大阪産業大学 大阪商業大学 太成学院大学 阪南大学(3) 関西大学 関西学院大学(2) 関西福祉大学 神戸医療未来大学 神戸学院大学 奈良学園大学 岡山理科大学 環太平洋大学 吉備国際大学 倉敷芸術科学大学 四国大学(5) 徳島文理大学(5) 聖カトリナ大学 松山大学(4) 高知学園大学 高知リハビリテーション専門職大学(2) 九州国際大学	関西女子短期大学		
				県内	
				県外	
専修 学校等				県内	
				県外	
				公務員	

極的に取り組んでいきましょう。ぜひ友人や先輩と学び合い、好奇心をもって学習を楽しんでほしいと思います。社会では、他者と協働する力、伝える力、継続する力、自己決定する力などさまざまな力が求められます。学校生活とともに、

体験学習やボランティア活動などにも参加し、学びを広げていってください。みなさんが榑原高校での学びを通して成長し、希望の進路を選択、実現していくことができるよう期待しています。

活動など、あらゆる機会を通じて大いに学んでください。学校は自らの学びの場、互いの学びあいの場であり、多くの経験と様々なかわりが存在します。その経験とかわりを肯定的にとらえ、人との出会いを大切にしていくべきです。

をよろしく願いいたします。そして地域の皆様方、本校の発展と生徒の成長のために、平素よりひとかたならぬ支援をいただき、深く感謝いたしております。榑原高校へ新たに仲間入りをした新入生を、在校生とともに温かく見守っていただければ幸いです。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

榑原高校は、開校以来、九十年の長きにわたり地域とともに歩み、多様な人材を育成、輩出してまいりました。現在に至っても、地域との連携を図り、地域や地域の人々に学び、地域から期待され支援を受けながら教育実践を続けています。そのような中で培われた、人間性を磨き、個性を伸ばし、社会・地域に貢献できる人間を育むという榑原高校の伝統と学校文化は、皆さんにも必ずや受け継がれ、より豊かな学びを保障してくれるはずです。

全生徒がこの津野山地域の豊かな自然と伝統文化、温かい地域の皆様の支援の中、心身ともに健康で、それぞれの未来を実現していくための充実した高校生活を送ることができるよう、教職員一同、一丸となって支援をしていきますので、本校教育活動への一層のご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。

我々教職員は、これまで培われてきた榑原高校の伝統や教育実践の成果を踏まえ、目の前の生徒たちに真に大切なものを見据えつつ教育に取り組んでいきます。生徒の成長を第一義とし、その目標のため、学校と保護者それぞれが役割を果たしながら連携できるよう努めてまいります。どうか本校の教育活動をご理解のうえ、ご支援ご協力



新任教職員紹介・挨拶



高橋 正英

幡多農業高等学校から赴任してきました主幹教諭の高橋正英です。初めての椿原高等学校、椿原の良いところをたくさん見つけたと思っています。生徒の皆さんの夢の実現のサポートができるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

池川 由花

伊野商業高校より赴任して参りました。池川由花（いけがわ ゆうか）と申します。教科は国語で、陸上競技部の顧問を務めます。明るく元気で、礼儀正しい生徒の皆さんの姿を見て、私も身が引き締まる思いで毎日を送っています。生徒のために、椿原高校のために、尽力していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

井手 拓実

中芸高校夜間部から参りました、井手拓実（いで たくみ）です。担当教科は英語で、部活動はテニス部の顧問と音楽部の顧問を担当します。生徒の皆さんに負けないうぐらい、椿原高校のために精一杯尽力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



松岡 拓郎

今年度、宿毛高校から異動してきました松岡拓郎（まつおか たくろう）といます。教科は商業・情報を担当します。皆さんのよい学校生活のために、精一杯頑張つていきますので、よろしくお願いいたします。

下村 僚

本年度、幡多農業高校から赴任してきました下村僚（しもむら つかさ）です。教科は農業で、主に農場の管理などをしています。部活動は陸上部です。皆さんが良い学校生活を送れるよう尽力していきますのでよろしくお願いいたします。

木村 伊織

本年度より期限付き講師としてお世話になります、木村伊織（きむら いおり）と申します。担当教科は理科です。皆さんがよい学校生活を送ることができるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

井上 桃花

本年度より高知江の口特別支援学校から異動してきました。寄宿舎と時間講師を担当します。教科は地理歴史・公民科です。皆さんの学生生活が楽しくなるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

武田 義人

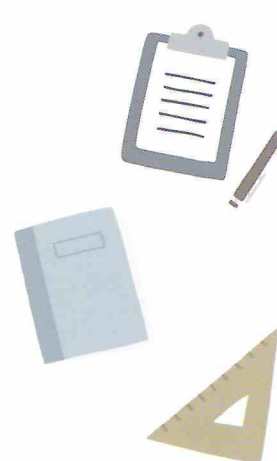
今年度、日高特別支援学校から転任してきました、事務の武田義人と申します。生徒の皆さんがより良い学校生活を送れるよう助けさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

田所 由佳

本年より、お世話になります。みなさんが楽しく学校生活を送れるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

市川 雄司

椿原高校初の「魅力化コーディネーター」として2月から勤務しています。アパレルやファッションテック企業、ファッション教育で40年のキャリアを積んだのち2月に両親介護と農業従事のため大野見にUターンしてきました。いよいよ、わが椿原高校も広報活動を本格的に始動します。PTA、椿原町、椿原企業など全てのステークホルダーのみなさまとビジョンを共有していくことになりました。よろしくお願いいたします。椿原高校を選んでくれた生徒たちに「最高のオンラインワゴン3年間であった」と言ってもらうために尽力してまいります。



生徒指導部より

生徒指導主事 武田 周

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。自然豊かな椿原高校で充実した3年間を過ごし、学習に部活動に一生懸命取り組みましょう。在校生も新学年を迎え、一年の目標を立て、その達成に向け取り組みましょう。本年度も昨年度に引き続き、校内でのルールやマナー、モラルを厳守することを重点目標とします。椿原高校は、地域に支えられ、地域とともに発展していく学校です。地域の方々は、常に関心を持って日々の皆さんの活動を見ています。皆さんの頑張りが、地域の発展に大きく影響することを肝に銘じて、椿高生として恥ずかしくない生活を送るべきことは守って、安全な生活を送れるように努めてください。一日一日を大切に、後から悔いすることのない高校生活を皆さんが過ごせるよう、全力でサポートしていきますので、よろしくお願いいたします。

総務部より

総務主任 市木 めい

新年度が始まりひと月が経ちました。初めは不安もあった新入生の皆さんも慣れてきた頃かもしれません。友人が少しずつ増えていく中で、時にはぶつかったり、うまく自分を表現することができなかったりすることもあるかもしれません。みなさんの周りには、助けてくれる人たちがたくさんいます。ぜひ、周りの人々たちを頼ってみましょう。そして、4月の初めに心配していた人は、新入生の皆さんだけではなかったかもしれません。保護者の皆様におかれましても、お子様が新しい環境におかれることに、心配された方もいらっしゃるかもしれません。ぜひ、新入生だけでなく2・3年生の皆さんも、嬉しかったこと楽しかったことを保護者の方に伝えてあげてください。学校からのお便りやお知らせを出しますが、きっと皆さんの声と笑顔が届くことが一番嬉しいはず。一緒によりよい高校生活をつくりあげていきましょう！

相談室より

SC 今西 一仁

本校ではスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの方が相談室（中校舎1階）に来校されています。生徒のみなさんはもちろん、保護者の方もぜひご利用ください。

スクールカウンセラーとして、椿原高校で勤務を始めて4年目になります。学校生活のことや自分自身のことなど、話をしてみたいと思うことがあれば、お気軽にお声かけください。生徒の皆さんが安心して学校生活を送ることができるようサポートさせていただきます。また、保護者の方からの相談もいただいています。勤務日は主に月曜日ですが、月ごとの日程については相談室だよりでお伝えしていますので、ご覧いただければありがたいです。よろしくお願いいたします。



1学期のSC来校予定日

（勤務時間11:00～17:45）

5月	19日	27日
6月	2日	9日 16日 23日 30日
7月	7日	14日

SSW 溝渕 快

昨年度から継続してスクールソーシャルワーカーとして椿原高校で勤務しています。SSWとは、社会福祉の専門家として児童・生徒が抱える問題を環境に働きかけながら、各機関と協同し問題解決を図っていく役割を担っています。文章にすると少し難しいイメージを持たれるかもしれませんが、学校の悩み・進路の悩み・家庭の悩みなどについて、お気軽に相談できる窓口だと思って、ご相談ください。（月2回ほどの来校予定です。）



後）下村先生、池川先生、井上校長先生、高橋先生、市川さん
前）井上先生、井手先生、木村先生、武田さん、松岡先生

転出者

主幹教諭	柳川佳史子	理 科	高知工業高校
教 諭	次田 由梨	国 語	高知丸の内高校
教 諭	織田 恵里	地歴公民	高知海洋高校
教 諭	矢野 真海	英 語	高知追手前高校
実習助手	西川 知良	農 業	幡多農業高校
主 事	亀井 瞳		岡豊高校
校 長	足達 昇		退職
教 諭	銅田 雄大	商 業	退職